

# 三重県の大気の現況について

---

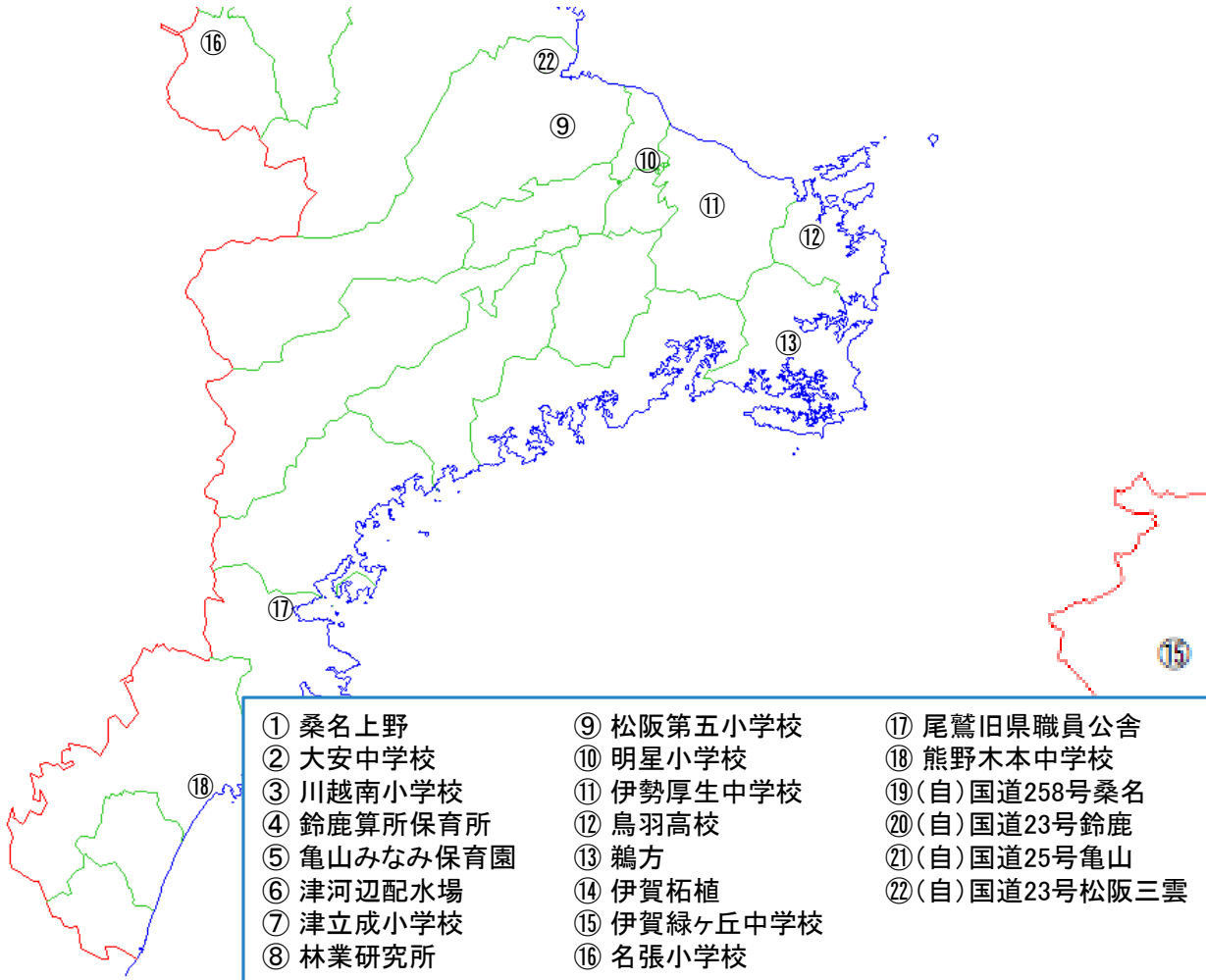
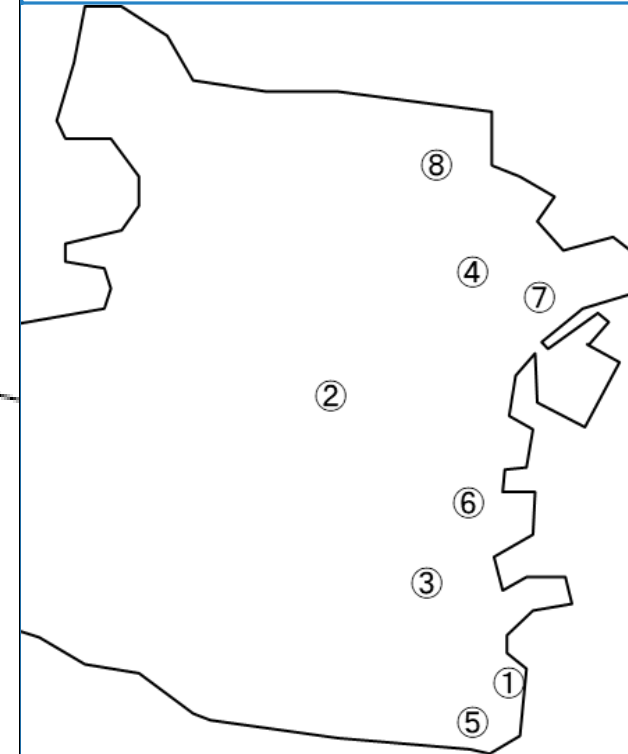
# 大気環境基準等について

大気汚染物質		法で定められた基準	三重県の環境保全目標
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	燃料(石油・石炭)の硫黄分が燃えることにより発生します。他の大気汚染物質とともに人間や動植物に害を与えます。「ぜんそく」の原因になるなど呼吸器に悪い影響を与えるといわれています。	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	年平均値が0.017ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	ものが燃えるときや、また燃料中の窒素分が燃えることにより発生します。自動車、工場などから多く発生します。呼吸器に悪い影響を与えるといわれています。	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	年平均値が0.020ppm以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	大気中に浮遊しているすべての粒子状物質のうち直径10μm(1μは1000分の1mm)以下のものをまとめて呼んでいます。気道や肺胞に付着して呼吸器に悪い影響を与えるといわれています。	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	
微小粒子状物質 (PM 2.5)	大気中に浮遊する粒子状物質であって、粒径が2.5μm以下の粒子を50%の割合で分離できる分粒装置を用いて、より粒径の大きい粒子を除去した後に採取される粒子をいいます。PM2.5は、粒子径が小さいため肺の奥まで届きやすく、喘息や気管支炎などを引き起こしやすいといわれています。	1年平均値が15μg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m <sup>3</sup> 以下であること。	
一酸化炭素 (CO)	炭素または炭素化合物が不完全に燃えたときに発生します。自動車排気ガスに含まれるので、大都市になるほど量が多くなります。血液中にあるヘモグロビンと結びついて呼吸困難を引き起こします。	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。	
光化学オキシダント (Ox)	オゾン、アルデヒド、PANなどの酸化性物質をまとめて呼んでいます。窒素酸化物、炭化水素などが紫外線により光化学反応してできたものを光化学オキシダントと呼び、光化学スモッグの原因物質となっています。	1時間値が0.06ppm以下であること。	

# 大気常時監視の状況について

## 四日市市測定局

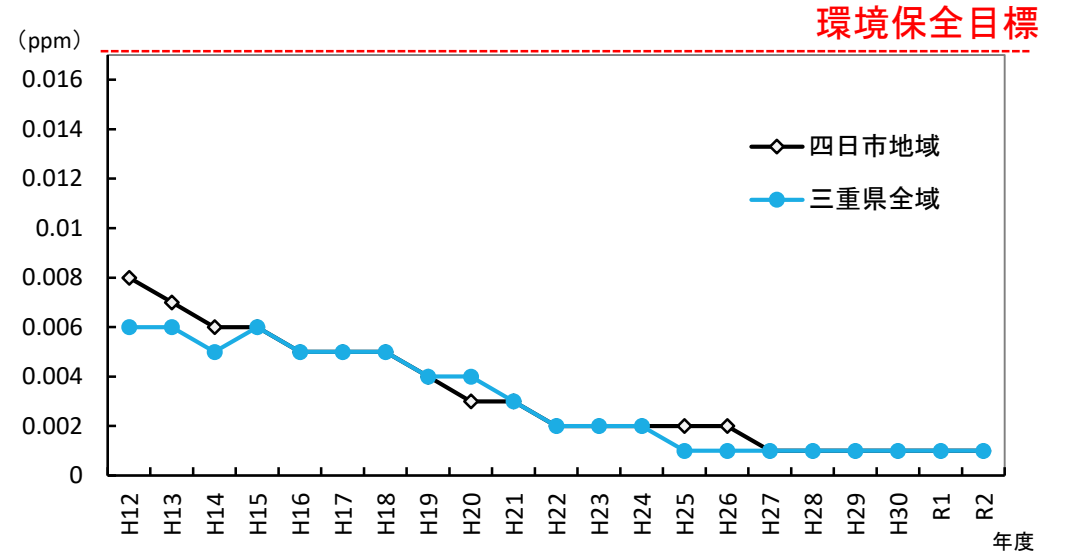
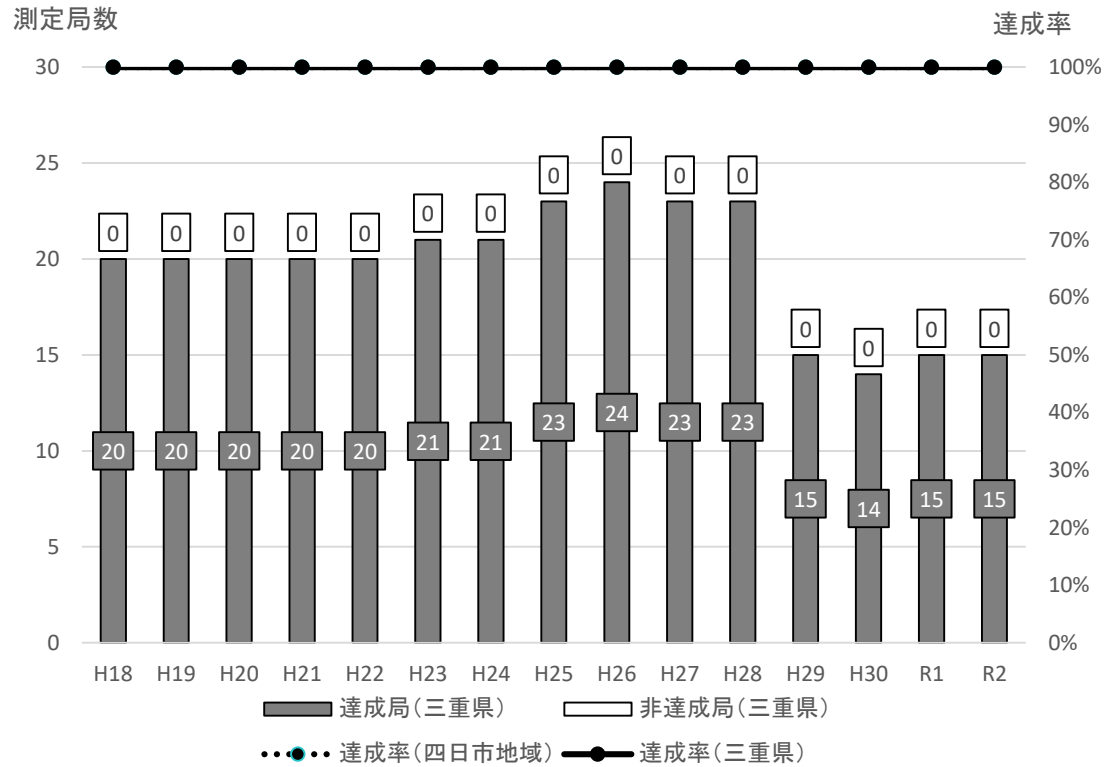
- |           |           |
|-----------|-----------|
| ① 磯津      | ⑤ 楠       |
| ② 四日市商業高校 | ⑥(自) 納屋   |
| ③ 三浜      | ⑦(自) 北消防署 |
| ④ 北星高校    | ⑧(自) 伊坂   |



# 大気汚染の測定結果(二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>))

**環境基準** 1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。(48.5.16告示)

**県環境保全目標** 年平均値が0.017ppm以下であること。



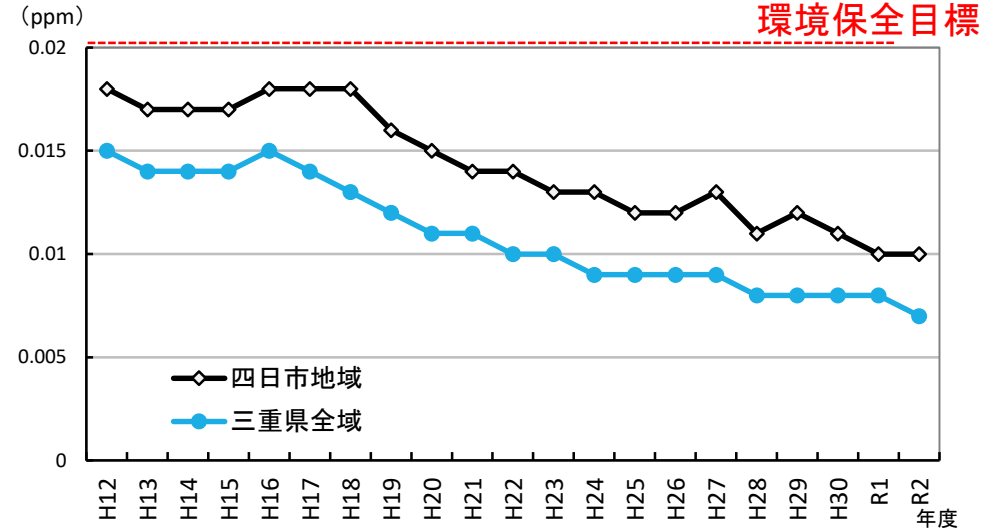
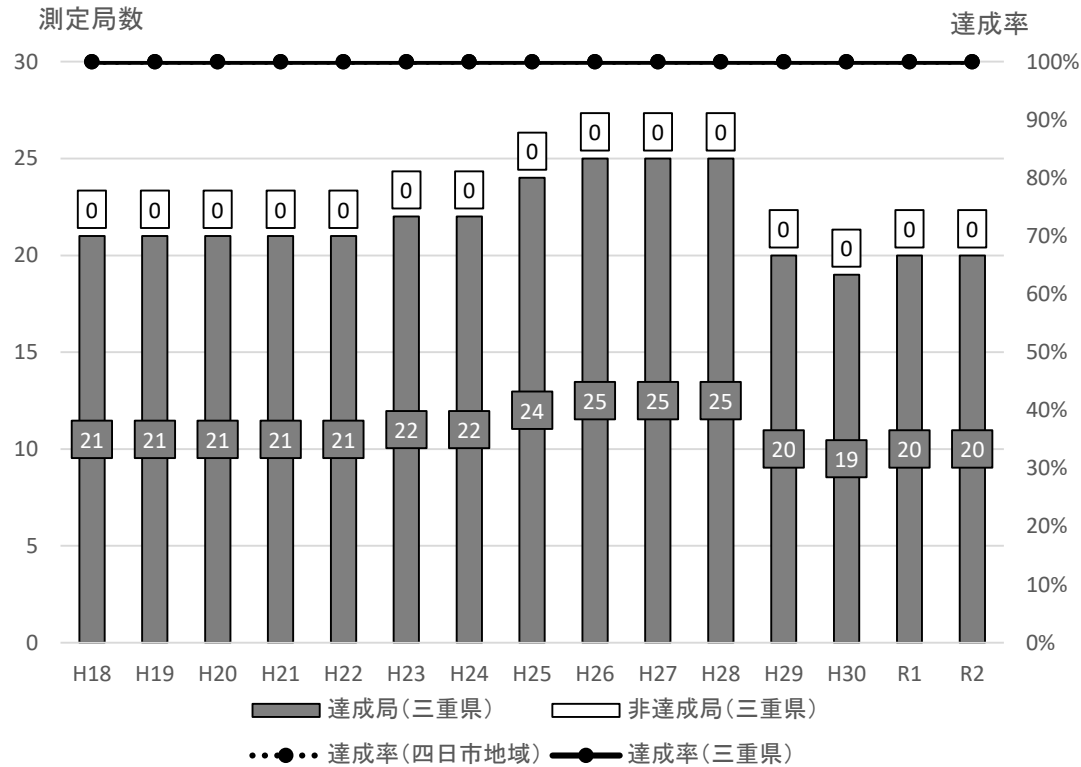
地域	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
四日市地域	0.008	0.007	0.006	0.006	0.005	0.005	0.005	0.004	0.003	0.003	0.002
三重県全域	0.006	0.006	0.005	0.006	0.005	0.005	0.005	0.004	0.004	0.003	0.002
地域	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
四日市地域	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	
三重県全域	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	

二酸化硫黄の経年変化(一般局の年平均値)

# 大気汚染の測定結果(二酸化窒素(NO<sub>2</sub>))

**環境基準** 1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

**県環境保全目標** 年平均値が0.020ppm以下であること。



地域	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
四日市地域	0.018	0.017	0.017	0.017	0.018	0.018	0.018	0.016	0.015	0.014	0.014
三重県全域	0.015	0.014	0.014	0.014	0.015	0.014	0.013	0.012	0.011	0.011	0.011
地域	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
四日市地域	0.013	0.013	0.012	0.012	0.013	0.011	0.012	0.011	0.01	0.01	
三重県全域	0.01	0.009	0.009	0.009	0.009	0.008	0.008	0.008	0.008	0.007	

二酸化窒素の経年変化(年平均値)

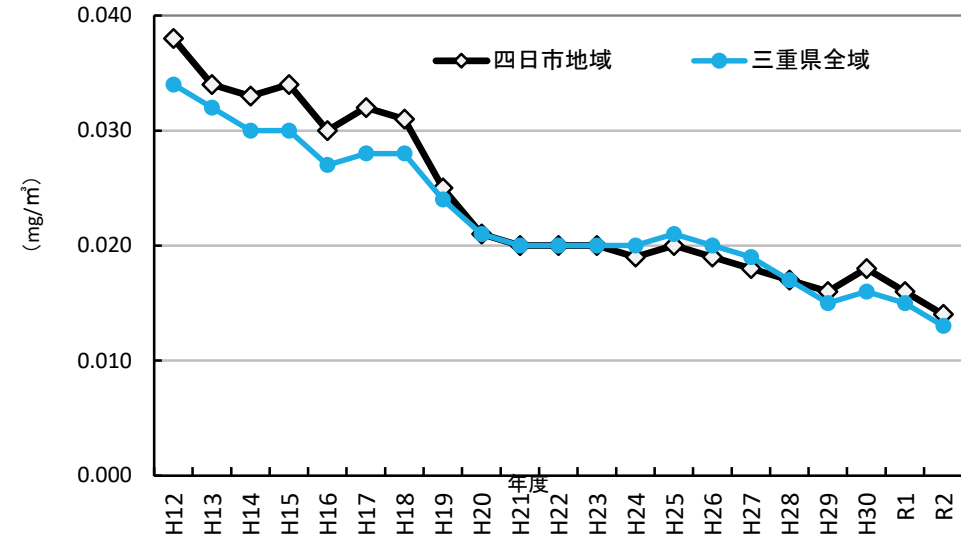
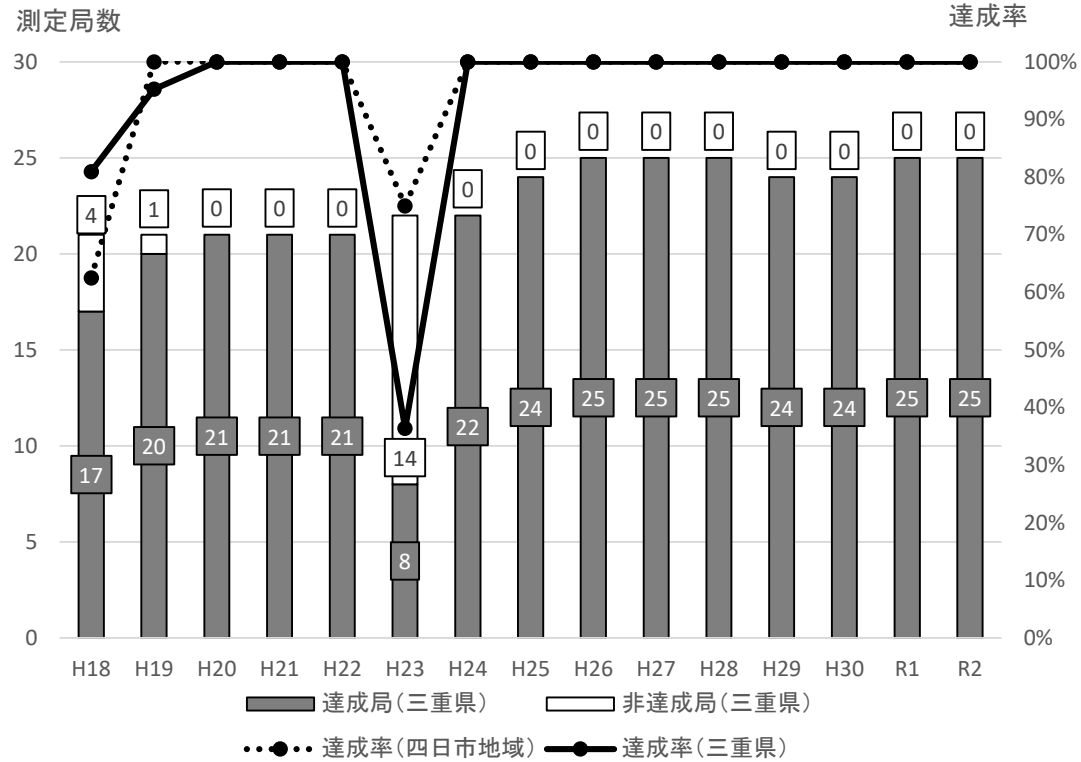
# 大気汚染の測定結果(浮遊粒子状物質(SPM))

環境基準

1時間値の1日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であること。

県環境保全目標

—



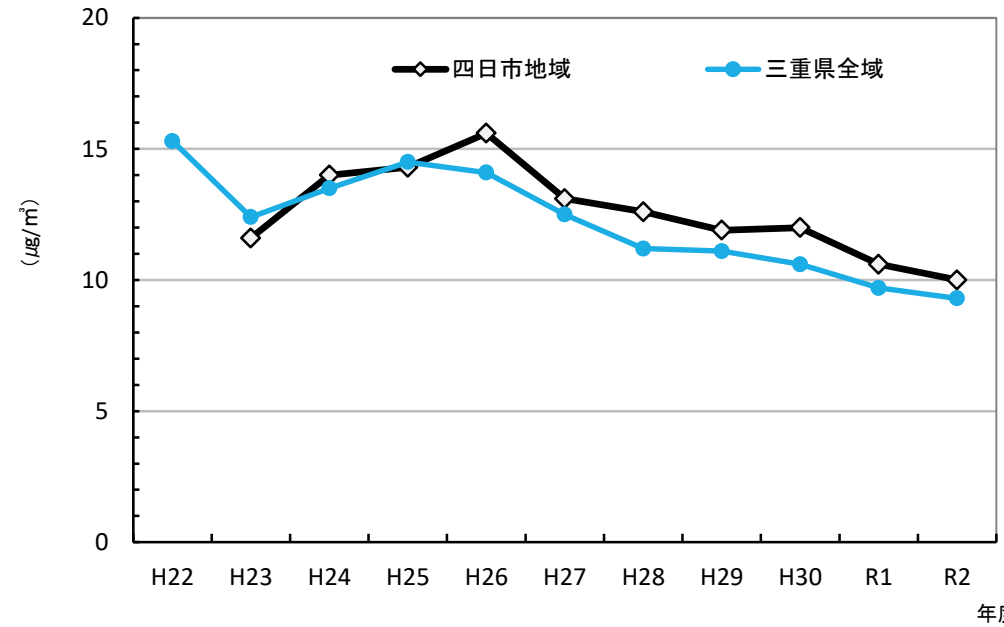
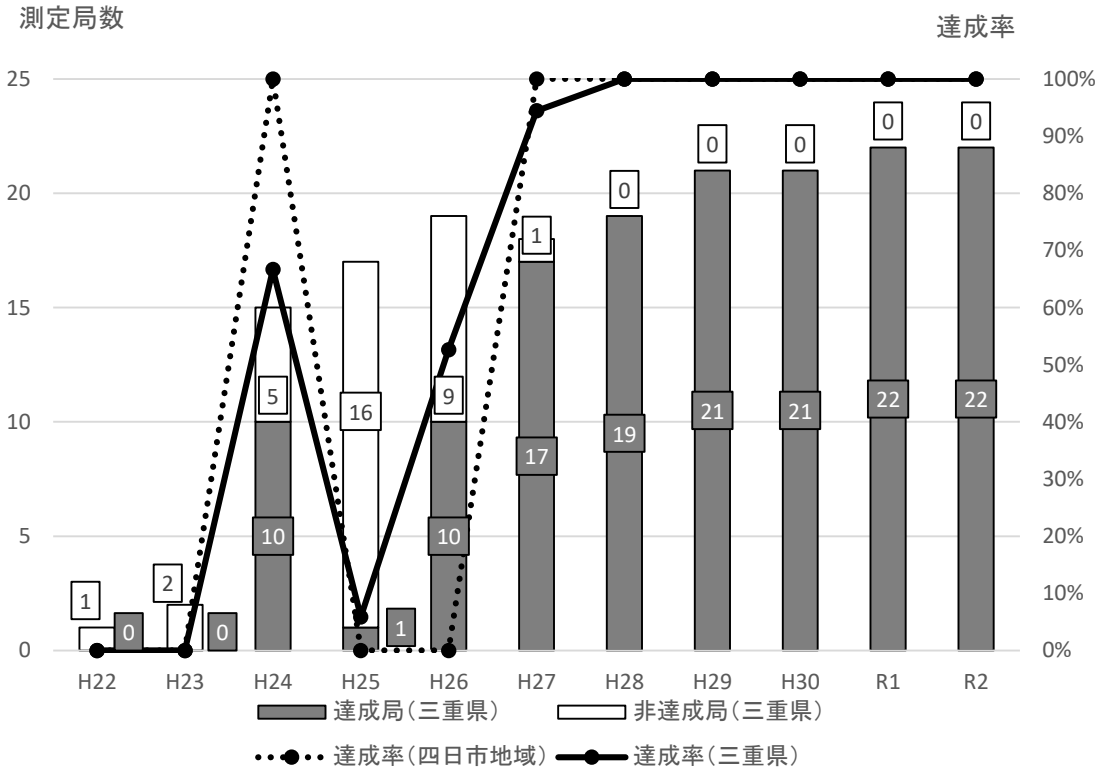
地域	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
四日市地域	0.038	0.034	0.033	0.034	0.030	0.032	0.031	0.025	0.021	0.020	0.020
三重県全域	0.034	0.032	0.030	0.030	0.027	0.028	0.028	0.024	0.021	0.020	0.020
地域	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
四日市地域	0.020	0.019	0.020	0.019	0.018	0.017	0.016	0.018	0.016	0.014	
三重県全域	0.020	0.020	0.021	0.020	0.019	0.017	0.015	0.016	0.015	0.013	

浮遊粒子状物質の経年変化(一般局の年平均値)

# 大気汚染の測定結果(微小粒子状物質(PM2.5))

**環境基準** 1年平均値が $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

**県環境保全目標** —



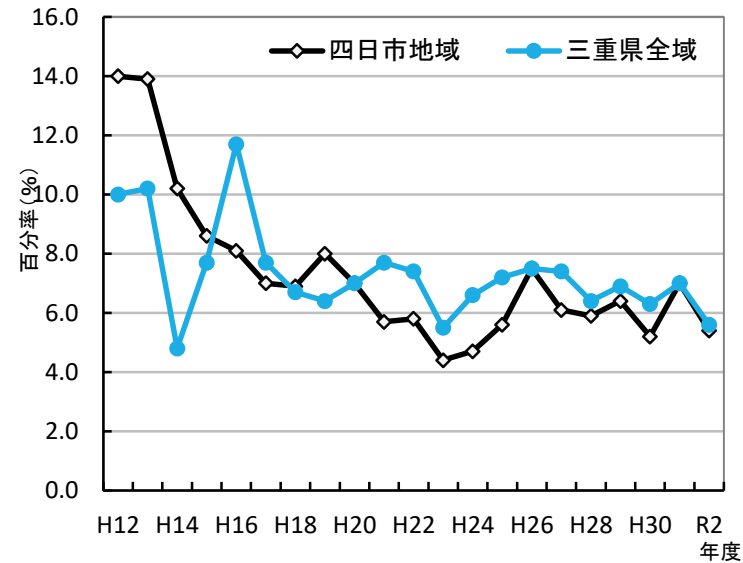
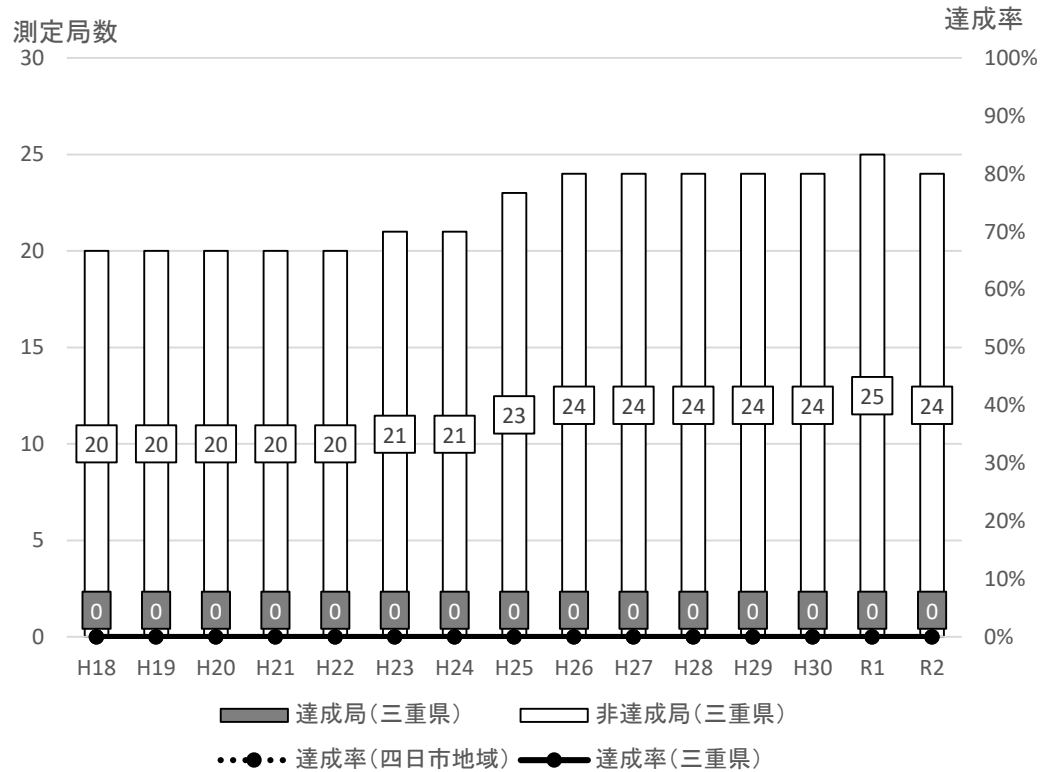
地域	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
四日市地域		11.6	14.0	14.3	15.6	13.1	12.6	11.9	12.0	10.6	10.0
三重県全域	15.3	12.4	13.5	14.5	14.1	12.5	11.2	11.1	10.6	9.7	9.3

微小粒子状物質の経年変化(一般局の年平均値)

# 大気汚染の測定結果(光化学オキシダント(Ox))

**環境基準** 1時間値が0.06ppm以下であること。

**県環境保全目標** —



地域	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
四日市地域	14.0	13.9	10.2	8.6	8.1	7.0	6.9	8.0	7.0	5.7	5.8
三重県全域	10.0	10.2	4.8	7.7	11.7	7.7	6.7	6.4	7.0	7.7	7.4
地域	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
四日市地域	4.4	4.7	5.6	7.5	6.1	5.9	6.4	5.2	7.0	5.4	
三重県全域	5.5	6.6	7.2	7.5	7.4	6.4	6.9	6.3	7.0	5.6	

光化学オキシダント昼間値(5~20時)が0.06ppmを超えた時間数の割合の変化



# 大気汚染の測定結果(光化学オキシダント(Ox))

区分	発令基準	区分	発令基準
予報	測定局におけるオキシダント濃度の1時間値が0.08 ppm以上で、かつ気象条件からみてその濃度が継続し、0.12 ppm以上に達するおそれのある場合	警報	測定局におけるオキシダント濃度の1時間値が0.24 ppm以上で、かつ気象条件からみてその濃度が継続すると認められる場合
注意報	測定局におけるオキシダント濃度の1時間値が0.12 ppm以上で、かつ気象条件からみてその濃度が継続すると認められる場合	重大警報	測定局におけるオキシダント濃度の1時間値が0.4 ppm以上で、かつ気象条件からみてその濃度が継続すると認められる場合

## 光化学スモッグ緊急時の措置発令状況

### 予報

地域名	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
桑名	2	0	1	1	2	1	2	4	1	0
大安	0	1	0	0	0	1	1	2	0	0
四日市	1	2	1	0	0	0	0	5	0	1
鈴鹿	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
亀山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
久居	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
松阪	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
明和	-	-	0	0	0	0	0	1	0	0
伊勢	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
鳥羽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
志摩	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0
伊賀	-	-	0	0	0	1	0	0	0	0
上野	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0
名張	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0
尾鷲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ発令回数	3	7	2	1	2	5	3	24	1	1
実発令日数	2	5	1	1	2	1	3	5	1	1

### 注意報

地域名	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
桑名	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0
大安	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
四日市	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
鈴鹿	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
亀山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松阪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
明和	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0
伊勢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥羽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
志摩	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0
伊賀	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0
上野	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
名張	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
尾鷲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ発令回数	1	1	0	0	0	0	1	10	0	0
実発令日数	1	1	0	0	0	0	1	4	0	0

# 光化学オキシダント予報・注意報発令実績

区分	発令基準	区分	発令基準
予報	測定局におけるオキシダント濃度の1時間値が0.08 ppm以上で、かつ気象条件からみてその濃度が継続し、0.12 ppm以上に達するおそれのある場合	警報	測定局におけるオキシダント濃度の1時間値が0.24 ppm以上で、かつ気象条件からみてその濃度が継続すると認められる場合
注意報	測定局におけるオキシダント濃度の1時間値が0.12 ppm以上で、かつ気象条件からみてその濃度が継続すると認められる場合	重大警報	測定局におけるオキシダント濃度の1時間値が 0.4 ppm以上で、かつ気象条件からみてその濃度が継続すると認められる場合

- 測定局
- ▨ 発令地域
- 注意報発令
- 予報発令

